

REIMEI

黎明 れいめい

～一般社団法人 日本PVプランナー協会会報誌～ Vol.12 秋号



表紙写真提供
後藤設備工業(株)
(有)後藤板金
CAW(株)

CONTENTS

- ・特集／太陽光発電施工業者が目指す「理想のO&M(オペレーション&メンテナンス)」とは？
- ・理事長・名誉会長就任挨拶
- ・地区会レポート／会員の仕事に繋がる地区会セミナーを全国キャラバンで開催しました！
- ・会員企業訪問／(株)ビル技研/(株)エネシス静岡
(株)テルツツオ/未来環境エネルギー計画(株)
- ・エリアマネージャー抱負を語る

一般社団法人 日本PVプランナー協会 理念

私たちは、PV プランナー・PV システムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます。

その為には

- 1、私たちは「地球環境問題」の解決に取り組みます。
- 1、「販売」は、コンプライアンスを遵守します。
- 1、「商材説明」は、お客様に正しい知識と情報を提供します。
- 1、「施工」は、安全を第一に考え、お客様の家屋を守りながら、適正な発電が行えるよう努力します。
- 1、「アフターサービス」は、お客様のニーズに応え、素早い対応を心がけます。

以上を行い、私たち・お客様・地球が共に繁栄する「豊かな未来創り」に貢献します。

『第6回 全国会員大会』開催のご案内

今年も全国会員大会を下記の通り開催いたします。協会員の皆様にはご多用中とは存じますが、ご案内を送付しておりますので皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日 2018年11月16日(金) 13:00～17:45

※情報交換会 18:00～20:00

会場 シダックスカルチャーホール8F

東京都渋谷区神南1-12-10

〔当日プログラム〕

13:00 開会～挨拶～表彰式

14:05 基調講演Ⅰ

『2030年にむけて PV150GW大作戦』

講師：(株)資源総合システム

代表取締役社長 一木 修氏

15:00 基調講演Ⅱ

『再エネ加速化・最大化促進プログラムについて』

講師：環境省 地球温暖化対策課 課長 奥山祐矢氏

15:30 基調講演Ⅲ

『環境価値実証事業とデジタルグリッドの今後の展開について』

講師：デジタルグリッド(株)代表取締役会長 阿部力也氏

16:30 パネルディスカッション

『都市近郊におけるソーラーシェアリングについて』

〔モデレーター〕

千葉エコ・エネルギー(株)

代表取締役 馬上丈司氏

〔パネラー〕

農林水産省 再生可能エネルギー室

室長 鎌田知也氏

城南信用金庫 顧問 吉原 毅氏

(株)横浜環境デザイン

代表取締役社長 池田真樹氏

17:45 閉会～写真撮影

18:00 情報交換会…テーブルマジック・舞台マジック
あります！



事務局だより

イギリス・コッツウォルズ地方に旅行してきました。ロンドンから車で2時間ほどの地域一帯を指します。鉄道網からはずれていたため、近代化の波をあびず、昔のままの姿が残っている美しい田舎です。石造りの家となだらかな丘、きらきら光る小川はどこを切り取っても絵ハガキのようで、ピーターラビットの世界です。からっとした気候や広々とした風景は北海道と似ていて、日本人の私でもあまり違和感はありません。ただ、よく見てみると電線や電柱がありません。商業看板もありません。家々に煙突はありますが、煙は出ていません。ガードレールや柵もありませ

ん。もちろん、どの家も人が暮らしています。思わずこの100年前の風景を守る見えない努力を想像してしまいました。イギリスは近代化の先頭に立って時代を切り開きましたが、古いものを大事にするという話をこの地方一帯という大きなスケールで実感しました。さいごに一言。イギリスの食事はとても美味しかったです。名誉挽回に協力します！ 但野



お問い合わせは…



一般社団法人 日本PVプランナー協会

〒222-0033

神奈川県横浜市港北区新横浜3-7-18

第2上野ビル715号室

TEL: 045-594-8015 / FAX: 045-594-8016

Web <http://pv-planner.jp>

Mail otoiawase@pv-planner.jp

制作・編集：(株)電設出版

SHIN EI

太陽光発電メンテナンス測定器

ストリングの不良診断



新製品

PVレジスタンスチェッカ

PVR-1000

測定
1秒!

定価 ¥138,000 (税別)



内部抵抗値でストリング診断

正常				不良初期				発電異常			
No.	抵抗値	電圧	電流	No.	抵抗値	電圧	電流	No.	抵抗値	電圧	電流
A002	10Ω	266.7V	10A	A003	10Ω	266.4V	10A	A004	10Ω	266.5V	10A
A003	10Ω	266.4V	10A	A004	10Ω	266.5V	10A	B001	567Ω	265.4V	4/2000
A004	10Ω	266.5V	10A	B002	>1000Ω	265.6V	5/2000				

※判定値は変更できます。開放電圧は、カラー判定しません。

NO-GO
判定

2000件
保存

USB
管理

650g

モジュールの性能診断



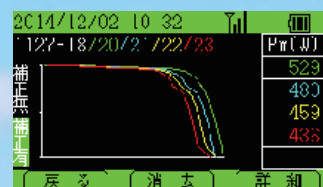
I-Vカーブトレサ

IVH-2000Z

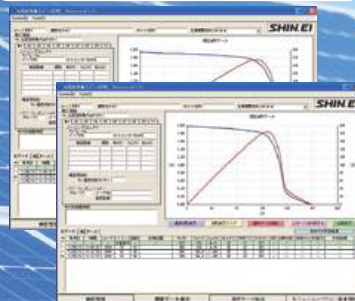
測定
1秒!

定価 ¥450,000 (税別)

I-V比較測定



SDM-3600 管理ソフト(付属)



日射・温度計(付属)

I-V
カーブ

解析
ソフト

日射計
付属品

1.4kg

新栄電子計測器株式会社

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤2636
TEL 0466-88-3030 FAX 0466-87-0627

SHIN EI

<http://www.shin-ei.ne.jp>

理事長・名誉会長 就任挨拶

2018年度～2019年度(任期:2018年10月26日～2020年10月代議員総会終了時迄)

理事長 池田真樹



このたび、一般社団法人日本PVプランナー協会の新理事長に就任いたしました池田真樹と申します。

まだまだ若輩者ではございますが、当協会のため、自分自身、できる限りを尽くしたいと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

今、太陽光発電業界は大きな岐路に立たされております。FIT価格が下落する中、全国各地で発電所のさまざまな問題が取り沙汰されております。もちろんすべてEPCが悪いわけではありませんが、一部に配慮や努力が足りないのも事実であると思います。国は再生可能エネルギー、特に太陽光発電を次世代電源のエース、基幹電源としてエネルギー基本計画に掲げております。

そういった中、私たちEPCもそれに応えるべく、さらなる勉強、経験を積み、モラルと信念を持って、本事業に取り組んでいくべきであると考えております。

まずは設計力の強化、これから作り出す発電所の長期的な信頼性をあげていかなければなりません。

次に地域との調和です。私自身も日本各地で直接的、間接的にお話をお伺いしております。どうすれば地域にとってよいWin-Winな発電所が作れるのか、真剣に議論し、行動に移していかなければなりません。

最後にO&Mです。作りっぱなしではなく、発電事業者様に寄り添った、キメの細かい保守管理がこれからは求められてまいります。

売電の権利だけではなく、義務を長きにわたって果たせる発電所づくりに、会員企業様、国、地方自治体と手を取り合って、取り組んで行きたいと思っております。

一方で、今年から来年にかけて、いよいよFITを卒業する時が参りました。欧米のグローバル企業から始まったRE100、また世界の投資動向はESGというキーワードで大きく動き始めております。この新しい流れをしっかりと掴み、皆様とともに、PV100年構想のもと、しっかりと舵を切って行きたいと考えております。皆様におかれましても、ぜひ私共日本PVプランナー協会にご期待いただき、引き続きのご指導、ご協力をお願い致します。

最後になりますが、協会員企業様のますますのご発展を祈念致しまして、私の着任の挨拶とさせていただきます。

名誉会長 林 浩司



このたび任期満了にともない理事長職を退き、名誉会長に就任致しました。平成26年10月に理事長職を拝命し、以来2期4年の在任期間中、会員の皆様をはじめ、関係諸団体の皆さまのご協力により、無事職責を全うできましたことに対し厚く御礼申し上げます。

拝命当時は、平成24年に始まったFIT制度により、全国各地に産業用太陽光発電所が建設されておりました。「私たちは、PVプランナー・PVシステムインテグレーターの育成をおこない、太陽光発電の健全な市場発展に努めます」という理念を貫き活動してまいりました。太陽光発電をどのようにしたら健全な形で社会に根付かせていけるかを、常に熱く真剣に語り合ってきました。

また、協会自身、前に向かっていく体制づくりにも力を注いできました。

事務局を、大阪府茨木市から新横浜へ移転したことも大きな転機でした。関東エリアに本部を置くことにより、経済産業省様をはじめ、行政機関様と繋がりができ、また、各種団体様とも交流がしやすくなり、活動自体に幅ができてまいりました。われわれだけの活動から、太陽光発電を共通語とするネットワークの一員になることができ、さまざまな角度からのご意見を頂戴する環境をいただいております。そのような皆様からいただいたご意見をもとに、当協会は、できるところから改善し、一步一步成長していくことができました。PVプランナー・PVシステムインテグレーターの育成する団体から、EPCやメンテナンス事業者、さらに発電事業者など、太陽光発電に関わるすべての関係者とともに、太陽光発電という再生可能エネルギーを持続的なエネルギーとして根付かせていくことが重要かと思っております。

社団法人としての精神を基本に持ちながら、これからも、新しいことにチャレンジし、進化していったほしいと思います。皆様のご健勝とご多幸を祈念して理事長退任と名誉会長就任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

太陽光発電施工業者が目指す「理想のO&M（オペレーション&メンテナンス）」とは？

太陽光発電のO&Mは本来あるべき『理想のO&M』に対して、これまでは『狭義のO&M』にとどまっていたといえます。国の施策として、太陽光発電の主力電源化と、それを受けて適切なメンテナンスの実施が提唱されていますが、O&Mが普及・定着するためには『狭義のO&M』ではなく『理想のO&M』の実現が必要です。

施工店に求められる視点

まず、O&Mを考える上で、施工店に求められる視点を右表にまとめました。

従来のO&Mは、2-2~2-5の視点しか持ち得ず、「いかに低価格でできるか」もしくは「技術的な面をどこまで深掘りできるか」という競争になっていました。しかし、『理想のO&M』は発電所の生涯収益を最大にすることを目的とし、発電事業者と同じ目線で考えることが大前提です。

発電事業者としても、「本来得られるはずの収益」を失ってしまうことを認識すれば、「必要最低限のコスト」と考えてくれます。そして、発電事業者の考えるO&M費用と、施工店の考える適正な利益をすり合せ、Win-Winの関係を構築することで『理想のO&M』の実現を図ります。『理想のO&M』は、ビジネスとして魅力がなければ成り立たず、どちらかが損をする関係では、長く続けることは不可能です。

施工店にとっても魅力的な市場でなければ10年後、20年後に現場を支える技術者が枯渇してしまいます。しっかり利益を得ることは、太陽光発電の主力電源化を支える意味でも必要なことです。

狭義のO&Mとの違い

『理想のO&M』は1-1がスタート地点になります。従来は設計・施工はO&Mの範疇外でしたが、A.（発電所の生涯収益を最大化すること）を実現するには、そこから始めなければ対応が非常に難しい、という現実があります。設計・施工ミスによる「まっとう」

ではない発電所が多数存在するからです。これから作る発電所に関しては、1-1で「まっとう」ではない発電所を作らないことから始めます。企画・設計の段階から、「テクニカル（技術的）チェック」、「リーガル（法務的）チェック」、「ファイナンシャル（財務的）チェック」を、これまで以上にしっかり行う必要があります。施工店としてスキルを磨くことで、セカンドオピニオンとしてのチェックニーズを取り込むことができます。

すでに存在する「まっとう」ではない発電所に関しては、3-1を提案することで厳しい条件の中でも収益最大化を目指します。当然、「まっとうな」発電所に比べてトータルでの収益は落ちますが、何もせず20年間過ごすよりも、有利な結果を生み出します。

リパワリングといわれ、総合的な提案力が必要となり大規模な工事になることも想定されます。また、転売時の査定点検をベースとした、改修もリパワリングの一種といえるでしょう。これまで積み上げられてきた「まっとう」ではない発電所の数を考えるとリパワリングのニーズ、市場規模は非常に大きいことが予想できます。

適正利益を得つつO&M実施

2-2~2-5における『狭義のO&M』も、もちろん『理想のO&M』に含まれます。ただし、必要条件ではありますが、十分条件ではありません。日常管理や定期点検、かけつけ対応などの契約を結び、常にA.を目指すという姿勢で取り組むことで、発電事業者からの信頼を得ることができます。その信頼がリパワリングなど、大きな仕事に結びつく原動力です（当然、新設ニーズにも直結します）。

とはいえ『狭義のO&M』を無料（もしくは廉価）サービスで実施することは、避けなければなりません。細々とした作業の連続なので、費用負担として明確には捉えていないかもしれませんが、じわじわと収益性を悪化させます。1件、2件ならば、無料でも大した負担ではありませんが、10件、20件と

施工店に
求められる
視点

（O&M の目的）

- A. 発電所の生涯収益を最大化すること
- B. 施工店としては、作業に見合った適正な利益を得ること

①「これから建設する発電所」

- 1-1. 不具合が発生しにくい設計・施工を行うこと
- 1-2. リスクファイナンスを適切に活用し、過剰品質を求めないこと

狭義のO&Mの
範疇外

②「（すでに稼働している）まっとうな発電所」

- 2-2. 発電事業者としては、必要最低限のコストでできること
- 2-3. 不具合が軽微なうちに発見し対策を施すこと
- 2-4. 障害が発生したら迅速に修繕すること
- 2-5. リスクヘッジ（損害保険ほか）の点検

狭義のO&M

③「（すでに稼働している）まっとうではない発電所」

- 3-1. 収益改善のための提案をすること

狭義のO&Mの
範疇外

④「転売・廃棄時」

- 4-1. 転売時に査定点検すること
- 4-2. 査定点検をベースに改修提案すること
- 4-3. 廃棄時のリユース、リサイクルビジネス

狭義のO&Mの
範疇外

理想のO&M

積み重なると想定外の赤字となります。実際、発電所の分譲会社などで、その点に気づき始めたところは、無料サービスから、有料のO&Mに切り替え始めています。

まずは『狭義のO&M』を適正な価格で数多く獲得し、ベースの収益としますが、1件ずつの利益は小さいので、発電所管理システムを活用するなど効率的な運用体制の構築も必要となります。

リスクファイナンスの活用も

全体を包括していえることですが、1-2「リスクファイナンスを適切に活用し、過剰品質を求めないこと」も欠かせません。

国は太陽光発電所に対して、適切なメンテナンスの実現と同時に、コスト低減を強烈に求めています。設置費用はもちろん、O&M費用の低減圧力も強まり続けることは間違いのないでしょう。

設置、O&M両面において、技術基準を満たしているならば、それ以上の過剰品質を求めず、リスク

ファイナンスを上手に活用することも、A.実現には欠かせません。極端な例ですが、自然災害でも絶対に壊れない発電所を作るコストを掛けるぐらいなら、必要な技術基準まではクリアした上で、それ以上の災害では壊れてもやむなし、と考え、壊れた際の保険をしっかりと掛けておく、という考え方です。これまで自然災害保険ひとつをとっても、コストの最適化を考えずに漫然と付けていたのではないのでしょうか。発電所のできや、実施しているO&Mの内容などに合せて見直すことで、大幅な保険料の削減も可能です。発電所の生涯収益を最大化するにあたって、リスクファイナンスの適切な活用は欠かせないものです。

以上、施工業者が目指す『理想のO&M』についてまとめましたが、現時点ですべてが実現できている訳ではありません。『理想のO&M』実現に向け、これからO&Mを担う施工店や、行政の然るべき機関と一緒に作り上げていくものと考えております。

共著：（一社）日本PVプランナー協会
（一社）新エネルギーO&M協議会

会員の仕事に繋がる地区会セミナーを全国キャラバンで開催しました！

太陽光発電 住宅用編

4月27日 中部地区会（名古屋開催）
5月28日 中国四国地区会（岡山開催）
8月 6日 東北地区会（仙台開催）
9月28日 近畿北陸地区会（新大阪開催）

「2019年問題に備えたエネルギーリフォーム ～自家消費による経済メリットと創蓄連携システム」

（株）イーステージ 専務取締役の石丸氏による講演。蓄電池を組合せた自家消費の経済メリットは絶大で、卒FITを迎えるにあたって商機のポイントが詳しく解説されました。また、熊本震災レポートでは災害時の自家発電メリットなどが報告され、とても興行きのあるセミナーとなりました。

「200万台を超えるエコキュートの更新需要をいかに取り込むか！ ～住宅用給湯器更新需要拡大から始まる蓄電池受注戦略」

住宅エネルギー部会 大槻事務局長による講演。自身の販売経験に基づき、エコキュートの大量更新需要が始まることが報告され、エコキュートの更新需要を取込むことがパワコンの更新需要にも繋がり、ひいてはお客様のかかりつけ施工店として、持続可能な地域密着型の商売となることが提案されました。

「AIを搭載したスマートHEMSと創蓄連携システム ～パナソニックスマートHEMS新製品」

パナソニック（株）エコソリューションズ社より、AI（人工知能）機能を搭載した「AiSEG2」による革新的なスマートHEMSが紹介されました。また、AIを活用した創蓄連携システムについても解説され、進化した蓄電システム、パワコン、エコキュートといった新製品の数々も紹介されました。

太陽光発電 産業用編

7月13日 関東地区会（東京神田開催）
7月26日 西日本合同地区会（新大阪開催）
9月13日 東北地区会（仙台開催）

「ブロックチェーンがビジネスチャンスを広げる ～活用事例や2030年のエネルギー像など」

【関東のみ開催】

（一社）エネルギー情報センター 江田理事から、ブロックチェーンを活用することでエネルギービジネスの可能性が拡大することや、将来的にはいつでもどこでも好きなだけエネルギー（電気）が使えるようになるなど、これから起こるエネルギー革命についてお話がありました。

「VPPとアグリゲーターによりエネルギーの需要と供給をコントロール ～VPP構築実証事業と太陽光発電設備の補助金活用」

（株）エネマン 営業本部長の菊地氏から、アグリゲーターによるVPP構築実証事業の解説がありました。また、同社池田氏による、自家消費太陽光発電システムと蓄電池設備の紹介があり、補助金を活用したコストメリットなどが説明されました。

「FIT18円時代でも利益を生み出す！ ～低圧発電所パックの紹介とソーラーエッジを活用したO&M」

【関東のみ開催】

ソーラーエッジの低圧パッケージについて、（株）アルシス 課長 岸田氏より、他社との性能やコスト比較によるコストパフォーマンスの優位性などが紹介されました。また、（株）エナジービジョン 部長の秋永氏よりソーラーエッジを活用したO&Mの違いや利点について解説がありました。

「農地法・農振法・森林法・河川法・廃棄物処理法のチェックポイント」

【西日本・東北のみ開催】

太陽光発電の事業認定取得のために必要な法律として、農地法・農振法・森林法・河川法・廃棄物処理法について解説していただきました。オリック東京法律事務所 乾弁護士による講演は、普段馴染みのない法律関係の内容にも関わらず、とても分かりやすく、会員の方にも好評をいただいております。

「発電所の雑草に関するリスクとは ～おすすめの管理方法」

【西日本・東北のみ開催】

再生電源開発（株）代表取締役 関口氏による講演。放っておくと大変なことになる雑草のリスクや、除草作業時の注意点、おすすめの管理方法、除草依頼先ごとのメリットとデメリットが解説されました。

※これらの映像＋資料は協会HPより視聴＋ダウンロードが可能となっています。社内研修や社内事業検討にお役立てください。（ご覧いただくにはパスワードが必要です）

講師の方々



（株）イーステージ
専務取締役 石丸氏



住宅エネルギー部会
大槻事務局長



（一社）エネルギー情報センター
江田理事



（株）エネマン 営業本部長
菊地氏



（株）アルシス
課長 岸田氏



オリック東京法律事務所
乾弁護士



再生電源開発（株）
代表取締役 関口氏

(株)ビル技研のやっていること・やりたいこと

(株)ビル技研 (関東エリア会員)

環境事業部は太陽光事業に参入してから約8年が過ぎました。住宅用太陽光から始まりましたが、FIT開始から産業用太陽光を軸に営業活動をおこなっております。施工は本業の測量技術を活かし、杭打設から架台、パネル設置まで精度を重視した、見た目も美しい発電所建設に取り組んできました。

現在軸になっているソーラーシェアリングでは弊社の特許製品「浮沈防止 BASE」を使用した設計・施工を行っており、別の特許製品「PVスライダー」を使用した遮光を調整できる農業施設の開発にも取り組んでおります。

農業に関しては、参入して3年目になりました。林業に関しては、岩手県、釜石地方森林組合の林業スクールに参加した後、山梨県南都留森林組合で無



制限の伐倒ができる特別教育を受講修了し、太陽光に関



わる木の伐倒などを行っていますが、今後は森林環境保全のため、間伐作業にも取り組む予定で、オリンピック需要が終わって建設関連の受注が減った後、次の主力事業だと思っています。次にやりたいことを申し上げます。まず、3Dデータを活用したICTの建設工事です。自然災害の復旧工事・危険箇所の工事で活躍し、能力・人員不足を解消する武器になると思います。林道の整備や伐倒機械にも取入れる予定です。さらに森林を整備し自然エネルギーを活用した、癒し空間を作りたいと思います。農作物、木を利用した六次産業事業も視野に入れております。

・会社概要・
社名：(株)ビル技研
住所：千葉県野田市上花輪1113-8
代表者：代表取締役社長 佐用 港
創業：1978年7月
主な事業：測量業、土地家屋調査士事務所、太陽光発電システム 販売設計・施工・メンテナンス

お客様が安心して工事にのぞめるように

(株)エネシス静岡 (中部エリア会員)

当社は静岡県浜松市を中心に太陽光発電システム・オール電化・住宅リフォームなどの販売・設計・施工を行っております。太陽光発電システムに関しましては、太陽光発電システムが普及する以前より施工に携わってきました。個人のお客様からの依頼はもとより大手家電量販店様・建築会社様・商社様・メーカー様からなどの依頼によるシステム設計から工事まで一貫した施工を行っております。創業時から数えますと2,000件以上の実績と経験を誇ります。

当社が一番重要だと考えるのは、施工前の徹底的な現場調査です。屋根材質、隣接の建物、家の構造などにより設置条件も違います。発電量の妨げとなる影ができる要因も調査し、当社自慢の高精度シュミレーションにより最適なプランをご提案しております。また、お客様が安心して工事にのぞめるように工事スタッフおよび事務方スタッフはメーカーの施工研修および、電気工事士免許などの資



格を取るようにサポートしております。

当社の経営理念である「S (Speed 迅速) Q (Quality 品質) C (Cost 価格) D (Delivery 工期) S (Safety 安全) +H (Hospitality おもてなし)」には、携わらせていただいているお客様の期待への責任と社員一人一人が幸せに生活できるようにとの気持ちが込められております。そして私の父である創業者の仕事への使命感だと常日頃から聞いてまいりました。今後共、この経営理念を胸に秘め成長していく会社で参りたいと思います。

・会社概要・
社名：(株)エネシス静岡
住所：静岡県浜松市中区上島3-18-13
代表者：代表取締役社長 小原剣太郎
創業：1996年
主な事業：太陽光発電設計・施工・販売

太陽光発電に未来を感じて

(株)テルツォ (近畿・北陸エリア会員)

弊社は1961年に設立し、地元の電気工事店として事業を続けていきましたが、太陽光発電に未来を感じ2010年太陽光発電の専門会社として再スタートをきりました。当初は家庭用太陽光発電が中心でしたが、現在は低圧の事業用太陽光発電を中心に自家消費型の太陽光発電やソーラーシェアリングなどにも力を入れています。また、地元行政やNPOなどと一緒に「地域の資源は地域で利用」「再生可能エネルギーでまちづくり」をスローガンとして市民出資を募り市民発電所を建設しました。(現在6基) そのうちの1基は市民農園でソーラーシェアリングを行っており、地元大学の実習場所にもなっています。太陽の恵みを作物に変える「農業」と電気に変えるソーラーシェアリングは高齢化が進み担い手のいない農地を有効活用し、農業を継続する手段として大きな役割を果たしています。2012年に始まった固定価格買取制度も買取価格が半分以上に下がり、事業的には厳しい状況になりつつあります。単に収益を目的とした太陽光発電もその役割を終え、大規模な太陽光発電所ではなく、これ



からは地域資源としてその役割を果たす必要があるのではないのでしょうか。

ソーラーシェアリングを通じて農業と関わる機会が多くなり、現在はその延長として畜産農家や行政と一緒にバイオガス発電所の建設を計画中です。発電だけでなく糞尿処理の問題解決手段として、その必要性を感じています。私どもの事業が、単なるエネルギー（電気）を作るだけでなく、持続可能な社会の実現につながる役割を果たすことができると考えています。

・会社概要・
社名：(株)テルツォ
住所：兵庫県宝塚市野上1-1-8
代表者：代表取締役 西田光彦
創業：1961年
主な事業：太陽光発電システム設計、施工、販売・各種オール電化機器の施工、販売・再生可能エネルギー導入のコンサルティング

環境とエネルギーに貢献できる会社になりたい

未来環境エネルギー計画(株) (中国・四国エリア会員)

『設立の想い(存在)：私たちは、「世界を変えるため」、次世代へ引き継ぐ「理想の環境とエネルギー」をテーマに、身近な日常生活や事業活動システムを、再生可能エネルギーの活用と省エネルギーを中心にした提案活動を通して「脱炭素社会の実現」を目指し、「ご縁のある一人ひとりの幸福を願い」、強い想いを結集し社会に貢献し続けるために存在する』

21年間の太陽光発電事業歴を活かして、未来の環境とエネルギーに貢献できる会社になりたいとの想いを具現化するため、昨年新会社を設立しました。

現在、社員9名とシニアアルバイト5名で会社を運営しています。営業エリアは施工・メンテナンスは徳島県を中心に四国4県とメンテナンス対応で中国・近畿を範囲としています。

低圧産業用太陽光発電の施工販売については、リピーターのお客様がほとんどで常に販売情報を



待っていただいている状況です。また、設立に当たりO&Mを積極的に展開していきたいとの思いで、グルディオ社のパネル洗浄システム「マジックウォッシュ」の代理店契約を行いました。そして、パネル洗浄デモを数回にわたり行い、新しいお客様と出会うことができ、現在多くのO&Mご契約をいただいています。

代表の吉村は、5月1日に発足した「(一社)新エネルギーO&M協議会」のメンバーに就任し、全国のEPC・発電事業者にとータルO&Mの重要性を普及推進しています。

・会社概要・
社名：未来環境エネルギー計画(株)
住所：徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保87-1
代表者：代表取締役 吉村長治
創業：2017年2月
主な事業：太陽光発電システム施工・販売事業・O&M事業・愛犬家住宅リフォーム事業

エリアマネージャー抱負を語る

2018年度～2019年度（任期：2018年9月1日～2020年8月31日）

《東北エリアマネージャー》 （株）パートナーズ（宮城県） 代表取締役 澤井 仁



【コメント】

協会理念に則した太陽光発電の健全な市場発展のため、正しい知識や確かな技術を得るセミナー、見学会を企画・開催し、自然溢れる東北の地から、再生可能エネルギーで豊かな未来創りに挑戦してまいります。

《関東エリアマネージャー》 （株）アルシス（栃木県） 営業二課 課長 岸田隼人



【コメント】

再エネを推進する意義の再確認、エネルギーの未来といった視点を中心に、今後もセミナーを企画し、再エネが単なる投資ビジネスとならないよう会員の皆様と情報共有を行い、業界の発展に尽力してまいりたいと考えております。

《中部エリアマネージャー》 G&Eカンパニー（長野県） 代表 恩田 誠



【コメント】

私は、地球上で循環しているエネルギーを皆様の普段の生活の中にもっと取り入れていくために、太陽光や太陽熱、バイオマス等のエネルギーをそのまま利用したり、貯蔵して別のエネルギーに置き換えて利用する生活スタイルの紹介を、地区会や研修会、セミナー等で広めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

《近畿・北陸エリアマネージャー》 （株）ヨネカワ（奈良県） 部長 米川 昇



【コメント】

2019年問題がいよいよ1年後に迫ってきました。今後、地区会としては蓄電池・HEMS等を活用したエネルギー自家消費時代に向けた取り組みを進めてまいります。また、産業用太陽光発電の低コスト開発からメンテナンスまで、研修を通じて協会会員の売上・利益に貢献できるよう進めてまいります。

《中国・四国エリアマネージャー》 （株）Sunエネルギー（岡山県） 岡本貴子



【コメント】

中国・四国エリアの会員のみなさまとご縁を繋ぎ、再生可能エネルギーの未来へと動けるように頑張ります。今後、もっと一般の方にも参加していただけるように魅力ある地区会に強化いたします。2年間どうぞよろしくお願い致します。

《事務局》 事務局主幹 原 翼



【コメント】

事務局に入社して、あっという間に5か月が経ちました。この間皆さまにご迷惑をお掛けしながら、まだまだ半人前ではありますが、何とか地区会の運営ができるようになってきました。今後も協会の皆様のお役に立てるよう邁進してまいります！


東洋計測器株式会社
計測器ランド

秋葉原の計測器総合商社

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-3-12 計測器ランドビル 電話：03-3255-8038 <http://www.keisokuki-land.co.jp>



FiT法改正

<< 太陽光発電の点検・調査に使用する計測機器・例 >>



バイパスダイオードテスタ
HIOKI FT4310
＜昼でも測定可能＞



絶縁抵抗計
HIOKI IR4055-11
＜PVモード搭載・4秒測定＞



電源品質アナライザ
HIOKI PQ3100-92
＜使用前点検時の
波形・高調波測定に＞



クランプ式電流計
HIOKI CM4371
＜タフ・高速・多機能クランプ＞



マルチメータ
HIOKI DT4254
＜世界最速・安全測定＞



接地抵抗計
HIOKI FT6031-03
＜防塵・防水・ワンブッシュ＞



検電器
HIOKI 3481
＜光と音で安全検電＞



サーモグラフィ
FLUKE TiS10



ラインチェッカ
戸上電機製作所 TLC-C



EL測定：西進商事
Solar EL Explorer

校正とは

東洋テック株式会社

計測器の校正受託

計測のよりどころは計測機器です。計測機器がズレていれば、計測結果は正しくありません。計測機器は精密な電子製品。国家の標準に照し合せ、計測機器がズレていない事を監視する。それが校正です。東洋テック様におまかせください。「高品質」「短納期」「低価格」を実現します。

<http://www.toyotech.co.jp>

■東京キャリアレーションセンター 〒101-0021 東京都千代田区外神田1-3-12 計測器ランドビル 電話：03-3251-8676
■浜松キャリアレーションセンター 〒435-0048 静岡県浜松市東区上西町60-3 電話：053-465-5800
■九州キャリアレーションセンター 〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王1-6-18 電話：092-409-5459